情　報　公　開

平成 30 年 7 月 31 日現在

Ⅰ　学校概要（ガイドラインの項目(1)）

1　学校組織

(1) 学校法人岡山科学技術学園
理 事 長　瀬戸川正彦
校外理事　梶谷俊介、森谷庸雄、丸山夏樹、中村忠司、松田　久
校内理事　中桐上雄(校長)、井上伸一、大月秀之、瀬戸川康宏
監　　事　岡本博明、成本　剛
所 在 地　〒700-0032 岡山県岡山市北区昭和町 8 番 10 号　　TEL (086)255-7171

(2) 専修学校岡山科学技術専門学校
校　　長　中桐上雄
設置課程　工業専門課程、文化･教養専門課程
所 在 地　〒700-0032 岡山県岡山市北区昭和町 8 番 10 号　　TEL (086)255-7171
　　〒700-0034 岡山県岡山市北区高柳東町 7 番 15 号　TEL (086)255-4822
　　HP　https://www.oist.ac.jp

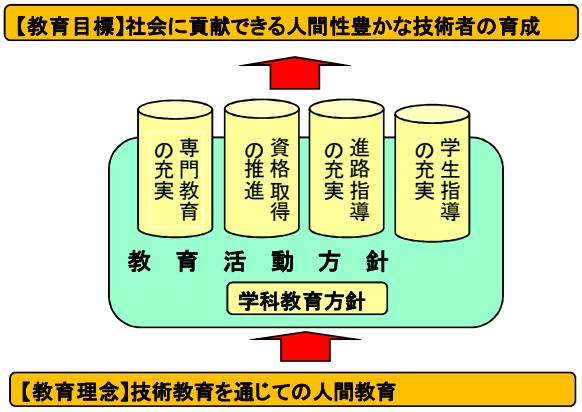
2　教育活動方針

(1) 教育理念
技術教育を通じての人間教育

(2) 教育目標
① 社会の要請に応える人間性豊かな技術者を育成する。
② 社会における果たすべき使命を自覚し、創意と工夫のできる技術者を育成する。
③ 科学技術に積極果敢に取り組む、誠実で逞しい精神力を備えた技術者を育成する。
④ 自他の健康と安全に配慮ができる、健康で明朗な技術者を育成する。

(3) 教育方針
① 専門教育の充実　② 資格取得の推進　③ 進路指導の充実　④ 学生指導の充実

(4) 教育体系
教育理念のもと、教育目標の実現を目指し、上記 4 項目を教育活動の柱とし、全教職員が教育の活性化、社会的評価の向上に努める。



３　沿　革

昭和 62 年 10 月　専修学校の設立が認可される
昭和 62 年 11 月　1 号館竣工
昭和 63 年 4 月　開校式を挙行
　設置学科：情報系、電気系、生物、機械系、自動車の 11 学科
昭和 63 年 9 月　2 号館竣工
平成 1 年 4 月　建築・インテリア系学科を新設
平成 8 年 4 月　3 号館竣工
　設置学科　情報系、電気系、生物、建築系、機械、測量、自動車の 11 学科
平成 9 年 9 月　創立 10 周年記念式典を挙行
平成 18 年 3 月　高柳校舎 B 棟・C 棟竣工。3 号館を A 棟に改称
平成 23 年 4 月　日本語学科開設
平成 24 年 5 月　創立 25 周年記念式典を挙行
　設置学科　情報、映像音響、電気、バイオサイエンス、建築系、測量、
　　ものづくり、自動車系の 11 学科
平成 28 年 4 月　国際自動車工学科、進学準備学科開設
　設置学科　情報、映像音響、電気、バイオサイエンス、建築系、測量、
　　ものづくり、自動車系、日本語系の 14 学科
平成 30 年 5 月　創立 30 周年記念式典を挙行

４　設置学科、学生数

学科名	C*1	V*1	E*1	B*1	K*1	LK	N*1	S*1	LM*1	M*1	IM	F*1	Y	J
学生数*2	17	55	49	17	50	8	33	22	10	59	53	22	14	151

*1：職業実践専門課程認定学科　　*2：平成 30 年 5 月 1 日現在　　（人）

C 情報システム学科　V 映像音響学科　E 電気工学科
B バイオサイエンス学科　K 建築工学科　LK 建築工学研究科
N 測量環境工学科　S ものづくり工学科　LM 一級自動車工学科
M 二級自動車工学科　IM 国際自動車工学科　F 自動車カスタマイズ学科
Y 進学準備学科　J 日本語学科

Ⅱ 各学科等の教育（ガイドラインの項目(2)）

１　情報システム学科

(1) 目指す学科像

情報に関する知識・技術を幅広く学び、使いやすく信頼できる情報システムを構築し、社会の創造に貢献できる実践力のある技術者の育成を目指します。そのため、座学教育の場でコンピューター業界への就職に結びつける資格取得のための教育を行い、実習教育の場では豊富な時間を使い、より実践的なプログラミング技術教育を行います。

学科の二本柱
① 資格取得
② ICT 技術者（主に SE、プログラマー）の育成

(2) 育成する学生像

職業人として必要な情報システムに関する資格と高度なプログラミング技術を、また社会人と

して必要なコミュニケーション能力を身に付け､コンピューター業界で活躍できる学生の育成をします。

① 基本的なビジネスマナーを身につけ、円滑な人間関係を築ける学生（コミュニケーション能力）
② オリジナルのシステム（プログラム）を開発する創造力と企画力を持つ学生（創造力・企画力）
③ 自己の能力と実績をアピールできる学生（プレゼンテーション力）
④ 授業の内容を応用して積極的にプログラム開発を行い、結果としてプログラミングコンテスト等に応募して自己評価をする学生（自己啓発力）
⑤ 設計から運用までの基本的なシステム開発ができる学生（システムエンジニア）

(3) 資格取得上の特典

資 格 名	特　　典	内　　容
基本情報技術者試験	午前試験免除	情報技術全般に関する基礎的な知識を活用し、情報システム開発において、プログラムの設計・開発を行う能力を認定する。

(4) 将来はこんな職業に

■システムエンジニア／プログラマー

ユーザのニーズを分析し、「システムを通じて何を実現するのか」という要求定義をします。定義に基づき、システム全体の基本設計、外部設計などの設計からテスト、運用サポートまでを行います。単にプログラムを作成できればいいというわけではなく、データベース、ネットワーク、各種 OS など、様々な知識とコミュニケーション能力、経験が必要になります。

□その他

■ウェブクリエーター　■ネットワークエンジニア　■カスタマーエンジニア
■システム運用オペレーター　■セールスエンジニア など

２　映像音響学科

(1) 目指す学科像

学生一人ひとりが自立した規律ある学科。クラスという概念を外し、学生一人ひとりが責任を持つ体制づくりを目指します。例えば、就職活動において学生と就職推進課が直接やり取りをする、または企業と直接交渉するなど、学生の自主性のもとで活動します。

(2) 育成する学生像

積極的な挨拶、規律を守る学生。映像音響業界のみならず、多数の企業が声を揃えて言う“当たり前のことが備わった学生“の必要性を強く感じます。規律を守るとは、時間厳守、指示の徹底、情報収集力をいいます。掲示板を利用し情報伝達を行うことで、自己管理力および情報収集力を養い能動的に行動する学生を育成します。

(3) 資格取得上の特典

資 格 名	特　　典	内　　容
舞台機構調整技能士 検定 3 級 （音響機構調整作業）	入学と同時に受検資格取得 在学中に 2 級まで受検可能	舞台音響・舞台照明の技術者にかかわる唯一の国家試験。現役の技術者も毎年多くの受検している。

(4) 将来はこんな職業に

■カメラマン

テレビで放送される様々な番組やコンサートで大型スクリーンに映し出される映像の撮影をする技術者です。フリーランスとして活躍している実力者もいます。

■照明技術者

テレビ、コンサート、イベントには必ず照明の仕事があります。技術だけでなく、クリエーターとしてもセンスが要求されるため、近年は女性の割合が非常に高くなっています。目の前に映るアートな世界を体感できます。

□その他

■PA エンジニア　■ライティングスタッフ　■イベントスタッフ
■ステージスタッフ　■映像ディレクター　■ラジオミキサー など

３　電気工学科

(1) 目指す学科像

高度経済成長が停滞した現代社会において、企業が求めるのは専門性に裏打ちされた技術力です。本学科では、多くの公的資格を取得し実社会で通用する実践力の技術者を養成します。

(2) 育成する学生像

豊富な専門教育を通して、電気技術者としての実力を身につけ、その成果として積極的に資格に挑戦し取得する意欲を持ち、本来の職業人としてのあるべき姿を探求し、勤労を重んじ真に産業界に貢献できる創造性豊かな学生の育成を目指します。

(3) 資格取得上の特典

資 格 名	特　　典	内　　容
第二種電気工事士	卒業と同時に無試験で取得	低圧（600V 以下）の一般家庭用の電気工事に必要な資格。
1 級 電気工事施工管理技士	卒業後実務経験 5 年で受験可能	大規模建設において電気工事と他の工事を関連づけ、電気工事士への指示を担当する主任に必要な資格。
2 級 電気工事施工管理技士	卒業後実務経験 2 年で受験可能	小規模建設において電気工事と他の工事を関連づけ、電気工事士への指示を担当する主任に必要な資格。

(4) 将来はこんな職業に

■電気工事士

住宅、ビル、工場、店舗などの配線工事や電気設備の保全などの作業に従事するには資格が必要です。第一種･第二種電気工事士試験に合格し、免許を取得した者を電気工事士と呼びます。

■設備管理者

マンション、工場、ビル、病院などの建築物において、照明、エレベーターなどの電力設備や防火用または避難用に用いられる消防設備、空調設備、ボイラーなどの定期点検、運転管理そして、施工管理を行う技術者です。

□その他

■電気保守・メンテナンス　■電気通信工事・保守　■機械保全
■サービスエンジニア　■技術公務員 など

４　バイオサイエンス学科

(1) 目指す学科像

主に食品微生物、バイオテクノロジー、化学、環境の 4 つの分野に関する基礎知識と実験技術の修得を目指します。グループによる実習に始まり、実験結果の検討や考察についてグループワークを多く取り入れ、「バイオサイエンス」を通じた「キャリア教育（社会的・職業的に自立するために必要となる能力や態度の育成）」を実践します。

(2) 育成する学生像

社会人としての常識（あいさつ、コミュニケーション、時間・期限厳守など）を身に付けた学生、バイオ関連業界での就職を第一としつつも、将来的にどんな業種でも対応できるような社会性を持った学生を育成します。

(3) 資格取得上の特典

資 格 名	特　　典	内　　容
中級バイオ技術者認定試験	卒業見込みで受験可能	遺伝子組換えなどの技術、そしてこれらを行うための安全管理に関する知識を持ち、適切な指導者の元で実際にバイオテクノロジーに適応しうる資質を認定する。

(4) 将来はこんな職業に

■食品衛生検査

食品中の汚染の指標菌や食中毒菌を検査し、「食の安心・安全」を担保する業務を担当します。

■環境分析技術者

河川の水質分析や大気汚染物質の測定、希少な動植物の調査など、環境保全の業務を担当します。

□その他

■発酵関連　■種苗関連　■食品製造　■食品開発　■化学関連　■品質管理 など

５　建築工学科

(1) 目指す学科像

社会状況に対応した専門知識や技能を修得するため、「学習効果（学科実績）を確実に高める教育」を重視した効果的なカリキュラムにより、社会で有益な専門資格・検定に積極的に挑戦するとともに、社会に通用する実践力を備えた人間性豊かな建築技術者を育成します。

(2) 育成する学生像

専門教育を通して、建築分野の楽しさや喜びが感受できる豊かな感性を磨き、専門資格や技能を修得することで、自信と誇りをもって社会に貢献できる創造性豊かな人材の育成を目指します。さらに研究科進学により、二級建築士を在学取得することでワンランク上の就職を目指し、より高度な能力（資格・知識・技術）に挑戦する人材を育成します。

(3) 資格取得上の特典

資 格 名	特　　典	内　　容
一級建築士	卒業後実務経験 4 年で受験可能	建築物の用途、規模、構造など無制限に、設計および工事管理ができる高度な資格。
二級建築士	卒業と同時に受験可能	一級より業務範囲は限られるが、設計や工事の業務ができる有利な資格。
木造建築士	卒業と同時に受験可能	延べ面積 300㎡、階数 2 以下の木造建造物に関する業務を行う木造専門の建築士資格。
1 級建築施工管理技士	卒業後実務経験 5 年で受験可能	建築施工技術者を育てる指導的技術者の資格。幅広い建築工事で、管理技術者として活躍できる資格。
2 級建築施工管理技士	卒業後実務経験 2 年で受験可能	現場監督など工事現場での義務づけられている有資格者として活躍できる資格。
インテリアプランナー	卒業後実務経験 4 年で受験可能	建築物の内部空間の企画・設計から工事管理までトータルに行うことができる資格。
インテリアコーディネーター	在学中に受験可能	住む人にとって快適な住空間を作るために適切な提言・助言を行うことができる資格。インテリア計画や商品選択のアドバイスなどを行う。
商業施設士	卒業後実務経験 1 年で受験可能 さらに 1 次試験免除	商業施設の運営・管理システムや店舗の設計デザインから管理までを行うための資格。

(4) 将来はこんな職業に

■建築士（設計業務）

建築業務の中でも最も重要といえる設計の仕事。住宅から学校・病院やショッピングモールなどの大きな建築物まで、建築主の要望をもとに、頭の中にあるイマジネーションを具現化する作業は建築の醍醐味です。

■インテリア設計士

壁紙・床材などの仕上げから、カーテンや照明器具に至るまで、住空間を彩るインテリアを提案します。材質・色・形など、テーマに沿ったインテリアを選び構成するこの仕事は、感性や感覚がとても大切です。

□その他

■建築施工管理技士（現場監督）　■インテリアコーディネーター
■ＣＡＤオペレーター　■福祉住環境コーディネーター　■家具デザイナー など

６　建築工学研究科

(1) 目指す学科像

本学科はインターンシップや重点資格の卒業後のフォローを含む、「学習効果（学科実績）を確実に高める教育」を重視した効果的なカリキュラムにより、最新の専門知識や技術を修得するとともに自己研鑽に励み研究意欲に溢れ、社会に通用する実践力を備え人間性豊かな建築技術者を育成します。

(2) 育成する学生像

研究科ではワンランク上の学科として、より高度な実務レベルの建築知識・技術の修得、企業や地域と連携した実践的教育を通じて、責任感と業務遂行能力を高め、周囲との連携を図れる社会人を目指します。また、絶えず建築の将来ビジョンをもって業界人資質を高めていける人材を育成します。

(3) 将来はこんな職業に

■建築士（設計業務）

建築業務の中でも最も重要といえる設計の仕事。住宅から学校・病院やショッピングモールなどの大きな建築物まで、建築主の要望をもとに、頭の中にあるイマジネーションを具現化する作業は建築の醍醐味です。

■建築施工管理者（現場監督）

設計図をもとに、職人さんたちを束ねて実際に建物をつくる仕事です。たくさんの人の力を結集し、図面上にある単なる線画を少しずつ実物へと造り上げていくことは、大変おもしろく充実感の大きい仕事です。

□その他

■福祉住環境コーディネーター　■ＣＡＤオペレーター　■家具デザイナー など

7　測量環境工学科

(1) 目指す学科像

国土交通省国土地理院の測量士補養成施設として、測量に関する専門知識や技術・技能を座学や実習を通して体験的に教授し、実践力のある測量技術者を育成します。また、広く環境工学、土木工学を修めることにより、安全で安心な社会基盤の構築に寄与することを通して、社会に貢献できる土木建設技術者を育成します。

(2) 育成する学生像

測量・土木・環境の専門教育を通して、社会的ニーズを真に感受し、人間性豊かで将来にわたる研学、探究し続けようとする態度を身に付け、社会的モラル・マナーを会得し、勤労に感謝し社会的に貢献できる創造性豊かな社会人を目指します。

(3) 資格取得上の特典

資 格 名	特　　典	内　　容
測量士補	卒業と同時に無試験取得	測量士が作成した測量計画に従事し、実測を行うための資格。
測量士	卒業後実務経験 2 年で 申請のみで取得	測量法の適用を受ける基本測量、国や公共団体が行う公共測量などに従事するための資格。
1・2 級 土木施工管理技士	卒業後実務経験 2 級：2 年で受験可能 1 級：5 年で受験可能	土木工事やトンネル、ダム、橋梁の工事現場に置かれる主任技術者などに必要な資格。
1・2 級 管工事施工管理技士	卒業後実務経験 2 級：2 年で受験可能 1 級：5 年で受験可能	管工事にあたり施工計画や施工図の作成、工程管理や安全管理などを担当する主任技術者などに必要な資格。
1・2 級 造園施工管理技士	卒業後実務経験 2 級：2 年で受験可能 1 級：5 年で受験可能	造園工事にあたり施工計画や施工図の作成、工程管理や安全管理などを担当する主任技術者などに必要な資格。

１・２級 建設機械施工技士	卒業後実務経験 ２級：１年で受験可能 １級：５年で受験可能	建設現場において管理技術者、主任技術者として機械化施工の管理および監督・指導を行うための資格。

(4) 将来はこんな職業に

■測量士

地表面上の点と点の位置関係を測って決めるための技術や作業を測量といいます。測量士とは、この測量に関する知識と技術を身につけ、国土地理院に登録された技術者です。測量士はこの測量作業を計画したり実施したりします。そして、国や地方公共団体が行う測量には測量士が従事しなければならないと測量法で定められています。

■土木施工管理者（現場監督）

土木施工管理者とは、道路、橋梁、トンネル、空港、港湾、河川、ダム、鉄道、上下水道、共同溝など社会基盤の調査、設計、建設、施工、維持管理などに必要な知識･技術を備えた技術者です。社会資本の構築に携わり、社会に貢献するやりがいのある仕事です。

□その他

■管工事施工管理技士　■造園施工管理技士　■土地家屋調査士　■建設関連設計士
■地方公務員　■技術士など

８　ものづくり工学科

(1) 目指す学科像

金属加工、木材加工、ＣＡＤ、メカトロニクスを指導の柱として、ものづくりに関する専門知識や加工の技術・技能を座学や実習を通して体験的に教授するとともに、基礎・基本を身に付け、誠実でたくましく、働く意欲の旺盛な技術者を育成します。職業実践専門課程としての専門教育を充実させ、企業と連携した実習やインターンシップ等にも取り組みます。

(2) 育成する学生像

専門教育を通して、ものづくりの楽しさや喜びが感受できる豊かな感性や、将来にわたり学び続けようとする態度を身に付けるとともに、勤労を重んじ、産業界に貢献できる創造性豊かな学生を育成します。

(3) 将来はこんな職業に

■技術職

設計・製図（ＣＡＤ）や機械加工の知識・技術を生かし、航空機・船舶・印刷技術・金型製作・機械・自動車部品・プラスチック製品加工など、さまざまな分野で、主として保守・保全を含んだ生産管理者として活躍できます。

■技能職

現在の産業界すべての生産現場で、オペレーターとして活躍できる。医療機器・アパレル・食品加工・電気製品・車両・船舶・航空機・建設機械・工作機械・家具・文具・化粧品など、あらゆるものづくりの現場で生産技術者として活躍できます。

□その他

■ＣＡＤオペレーター　■機械加工　■機械メンテナンス　など

９　一級自動車工学科

(1) 目指す学科像

現在の高度な自動車技術に対応できるよう学生の基礎技術の修得と接客力の向上に努めます。就職後は積極的に仕事に取り組む姿勢を磨き、企業でリーダー的存在となる人材を育成します。さらに、優良企業への早期就職内定率 100%と１級小型自動車整備士試験合格率 100%を実現します。

(2) 育成する学生像

最上級学科の学生としての自覚を持ち礼儀を重んじルールと約束を守る学生、責任ある行動をし、自ら他者の模範となって企業から高く評価される人材を育成します。

(3) 資格取得上の特典

資 格 名	特　　典	内　　容
1 級小型自動車整備士	受験資格の取得 実技試験の免除	自動車整備に関する資格の最高峰。

(4) 将来はこんな職業に

■１級小型自動車整備士

自動車整備士の使命は「お客様のカーライフにおいて、喜びや感動していただくための安心を提供する」ことです。より高度な知識を修得し、自信を持ってお客様に接することで、カーライフの良きパートナーになることです。自動車技術は安全性・軽量化に加え、環境性能の必要性など、目覚ましく進歩しています。この高度に進化する技術に対応できる「技術力」とアドバイスできる「話す力」を合わせ持った自動車整備士として 1 級小型自動車整備士の必要性がますます高まっています。

□その他

■自動車検査員　　■コンサルタント　　■カーアドバイザー など

10　二級自動車工学科

(1) 目指す学科像

本学科では、国土交通省の一種養成施設として、自動車整備に関する専門知識や技術・技能を座学および実習を通して体系的に教授します。さらに、実践力と仕事に対する厳しさも学ぶとともに、関連した資格取得を目指します。

(2) 育成する学生像

専門教育を通して自動車整備の楽しさ厳しさを学び、6S（整理・整頓・清掃・清潔・躾・安全）を身につけた人材、さらに、自らの自動車整備技術の向上心はもちろん、お互い助け合い「和を大切にする」心をもった、真に自動車整備業界に貢献できる創造性豊かな学生を育成します。

(3) 資格取得上の特典

資 格 名	特　　典	内　　容
2 級ガソリン自動車整備士	受験資格の取得 実技試験の免除	認証・指定工場に必要な自動車整備士としての資格。
2 級ジーゼル自動車整備士	受験資格の取得 実技試験の免除	認証・指定工場に必要な自動車整備士としての資格。

2 級二輪自動車整備士	受験資格の取得 実技試験の免除	認証・指定工場に必要な二輪自動車整備士としての資格。

(4) 将来はこんな職業に

■二級自動車整備士

卒業後に取得を目指す二級自動車整備士（ガソリン・ジーゼル・二輪）となり、二輪から大型車まで自動車の整備作業を行います。点検、車検などの定型作業からエンジンの分解修理、故障診断など自動車に関する全ての整備作業を行います。

自動車メーカーと契約し、新車を販売している企業を自動車ディーラーといいます。県下に多くの店舗を保有し、ほとんどの店舗に整備工場を保有しています。好きな車を販売している企業で自動車整備士としての腕を発揮することができます。

□その他

■二輪自動車整備士　　■自動車検査員　　■カーアドバイザー など

11　国際自動車工学科（留学生対象）

(1) 目指す学科像

本学科では、国土交通省の一種養成施設として、自動車整備に関する専門知識や技術・技能を座学および実習を通して体系的に教授します。さらに、実践力と仕事に対する厳しさも学ぶとともに、関連した資格取得を目指します。また、日本語能力の向上にも努め、即戦力と成り得る能力と忍耐力を身につけ、社会の要請に応える人間性豊かな技術者を育成します。

(2) 育成する学生像

専門教育を通して自動車整備の楽しさ厳しさを学び、6S（整理・整頓・清掃・清潔・躾・安全）を身につけた人材、さらに、自らの自動車整備技術の向上心はもちろん、お互い助け合い「和を大切にする」心をもった、真に自動車整備業界に貢献できる創造性豊かな学生を育成します。

(3) 資格取得上の特典

資 格 名	特　　典	内　　容
2 級ガソリン自動車整備士	受験資格の取得 実技試験の免除	認証・指定工場に必要な自動車整備士としての資格。
2 級ジーゼル自動車整備士	受験資格の取得 実技試験の免除	認証・指定工場に必要な自動車整備士としての資格。

(4) 将来はこんな職業に

■二級自動車整備士

卒業後に取得を目指す二級自動車整備士（ガソリン・ジーゼル）となり、自動車の整備作業を行います。点検、車検などの定型作業からエンジンの分解修理、故障診断など自動車に関する全ての整備作業を行います。

自動車メーカーと契約し、新車を販売している企業を自動車ディーラーといいます。県下に多くの店舗を保有し、ほとんどの店舗に整備工場を保有しています。皆さんが好きな車を販売している企業で自動車整備士としての腕を発揮します。

□その他

■自動車検査員　　■カーアドバイザー など

12　自動車カスタマイズ学科

(1) 目指す学科像

本学科では、自動車車体整備を軸に、自動車の板金・塗装の専門知識や技術・技能を座学や実習で修得するとともに、自動車の構造・整備に関する専門知識も合わせて修得し、国家資格である自動車車体整備士を目標とします。また、カスタムカー制作実習やカスタム・カルチャー・スクールなどを通してカスタムペイント、デザインも実践的に学習し、関連した資格取得にも挑戦して幅広い知識を持った車体整備技術者を育成します。

(2) 育成する学生像

自動車車体整備作業全般を通して作業の楽しさや喜びを感じ自分から学ぶ姿勢を養い、より創造性豊かな感性を磨くとともに、何事においてもルールを遵守し責任をもって行動できる、社会に歓迎される学生の育成を目指します。

(3) 資格取得上の特典

資 格 名	特　　典	内　　容
自動車車体整備士	受験資格の取得 実技試験の免除	車枠および車体の整備を行うための資格。

(4) 将来はこんな職業に

■自動車車体整備士（板金）

事故などにより、外装に傷を負った自動車を修理する技術者です。自動車板金技術者は、さまざまな特殊技術を使って、もとの状態に修復します。この作業は技量の差が出やすく、熟練した自動車板金技術者の手にかかると仕上がりが全く異なります。

13　進学準備学科（留学生対象）

(1) 目指す学科像

本校の工業専門課程に進学することを前提にして、受験に必要な基礎学力を修得し、専門課程の授業に耐えうるまで学力レベルを引き上げます。また、日本での就職を念頭にその心構えについての指導や情報提供を行い、学習に対する意欲が少しでも向上するようサポートします。

(2) 育成する学生像

日本人と問題なくコミュニケーションがとれる程度の会話力、ならびに専門用語に対応できる漢字や外来語の語彙力を有する学生、科学技術を修得するために必要な数学や物理の基礎知識を有する学生、日本での就職を目指し日本の社会の中できちんと自己管理しルールを守ることができる学生を育成します。

(3) 卒業後の進路

■本校の工業専門課程

■大学（経済、語学、福祉）

■専門学校（商業、福祉、服飾）

14　日本語学科（留学生対象）

(1) 目指す学科像

日本語の基礎をしっかり身に付けられるような指導と日本語能力検定対策に力を入れます。日本語ができれば専門の勉強がよくわかり、よい就職、安定した収入に繋がることをしっかりと伝えます。

(2) 育成する学生像

礼儀正しく、日常生活や学園生活が円滑に運べる日本語でのコミュニケーション能力および専門課程での勉学がスムーズにできる日本語力を身につけた学生、アルバイトの収入などにとらわれず、将来を見据えて今やるべきこと（日本語の勉強）に懸命に取り組む、目的意識のある学生を育成します。

(3) 卒業後の進路

■本校の工業専門課程
■大学（経済、語学、福祉）
■専門学校（商業、福祉、服飾）

Ⅲ 教職員（ガイドラインの項目(3)）

理事長	校長	副校長	教頭	専任教員	兼任教員	局長	事務局	計(人)
1	1	1	1	40	41	2	20	107

Ⅳ キャリア教育・実践的職業教育（ガイドラインの項目(4)）

1　インターンシップ

各学科では企業との連携の一環で、企業における現場実習（インターシップ、体験実習）を実施しています。期間および実施時間数は各学科により異なります。

実施学科：

情報システム学科	映像音響学科	電気工学科	バイオサイエンス学科
建築工学科	建築工学研究科	測量環境工学科	ものづくり工学科
一級自動車工学科	二級自動車工学科	自動車カスタマイズ学科	

2　進路講演会

学生の進路意識を高めるとともに、職業選択の一助にするため、学生向けの進路講演会を開催しています。

学校が主催するもの　　：年１回
保護者会が主催するもの：年１回

3　企業説明会

本校では関係企業の協力のもと、学校主催の説明会を、毎年 1 月を中心に 1 年生を対象として実施しています。参加企業数は学科により異なりますが、学校全体で延べ 120 社の参加です。

４ 教職員の研修会の参加

教職員の資質能力の向上を図るため、毎年多数の教職員を外部研修に派遣しています。昨年度は延べ 110 名が参加しました。

５ 研究紀要

本校では教職員の資質能力の向上をとおして、本校教育の一層の充実を図ることを目的に、平成 22 年度から教職員の執筆による研究紀要を発刊しています。研究紀要の発刊は、本校教職員の研究意欲の醸成に繋がるとともに、関係高等学校や専修学校にも配布し本校教育の力量を周知する広報誌として活用しています。

Ⅴ 様々な教育活動・教育環境（ガイドラインの項目(5)）

１ 広報新聞

本校では本校の教育活動を保護者に理解していただくため、学校行事等のトピックスを掲載したカギセンニュースを発行しています。カギセンニュースは、成績表の送付にあわせて保護者に配付し学校と家庭を結ぶ情報手段として活用しています。「学校の状況や学生の活動状況が手に取るように分かる」と非常に好評です。

２ 技術競技会

建築工学科、建築工学研究科を中心に設計コンクール等に参加し、毎年優秀賞に入賞するなどして高い評価を頂いています。

３ 展示会・発表会

卒業研究の発表として校内および校外の施設を会場に開催しています。

開催学科：情報システム学科　映像音響学科　バイオサイエンス学科　建築工学科
建築工学研究科　ものづくり工学科　自動車カスタマイズ学科

４ 校外研修

全学科が校外の施設等の見学や技術研修に取り組んでいます。

５ スポーツクラブ

本校にはサッカー部、軟式野球部、バスケットボール部、卓球部、バドミントン部、ボウリング部があり、放課後等を活用して自主的に活動を行っています。

６ 学生寮の整備

本校は、遠隔地から進学する学生のため学生寮を設け生活支援を行っています。

Ⅵ 学生の生活支援（ガイドラインの項目(6)）

１ アルバイトの紹介

学生窓口を設けアルバイト情報等を提供しています。

２ 教育相談

本校ではクラス担任が教育相談の窓口となり、初期の対応に当たるとともに、内容によっては学科長、教務部長、教頭、副校長が連携して対応できる体制を整えています。

３ 保護者会

本校の保護者会は、平成 12 年に学校を支援する組織として設立されました。活動としては、学校行事等への参加、進路講演会の開催、備品類の寄贈等です。

４ 企業後援会

本校の企業後援会は、平成 3 年に教育事業の後援と学生の就職支援等を目的として設立され、本校教育並びに卒業生の進路等に絶大な支援をいただいています。会員企業数は 130 社を超えます。

５ 同窓会

本校の同窓会は、「会員相互の親睦を図り、在校生および卒業生の縦のつながりを密にし、各分野で活躍されている同窓生のつながりを深める」ことを目的に平成 7 年に設立され、今日まで本校卒業生の精神的拠り所となっています。現在の会員数は 7,512 名です。

Ⅶ 学生納付金・就学支援（ガイドラインの項目(7)）

１ 学生納付金

学科	入学金（入学時のみ）	学費（年間）			１年次合計	２年次合計	３年次合計	４年次合計
		授業料	実習費	設備維持費				
情報システム学科	220,000	500,000	250,000	230,000	1,200,000	980,000		
映像音響学科	220,000	500,000	250,000	230,000	1,200,000	980,000		
電気工学科	220,000	500,000	250,000	230,000	1,200,000	980,000		
ﾊﾞｲｵｻｲｴﾝｽ学科	220,000	500,000	250,000	230,000	1,200,000	980,000		
建築工学科	220,000	500,000	250,000	230,000	1,200,000	980,000		
建築工学研究科	220,000	500,000	100,000	230,000	1,050,000			
測量環境工学科	220,000	500,000	250,000	230,000	1,200,000	980,000		
ものづくり工学科	220,000	500,000	250,000	230,000	1,200,000	980,000		
一級自動車工学科	220,000	500,000	250,000	230,000	1,200,000	980,000	980,000	980,000
二級自動車工学科	220,000	500,000	250,000	230,000	1,200,000	980,000		
国際自動車工学科	220,000	500,000	250,000	230,000	1,200,000	980,000		
自動車ｶｽﾀﾏｲｽﾞ学科	220,000	500,000	250,000	230,000	1,200,000	980,000		
進学準備学科	100,000	500,000	0	100,000	700,000			
日本語学科	70,000	500,000	0	100,000	670,000	600,000		

（単位：円）

※上記納付金以外に、教科書代、教材・教具費用、学生諸費用（同窓会費、補助教材費、スポーツ振興費、保険代等）として下記の金額を入学前または進級時に納めていただきます。

●1 年次
4 万円程度：進学準備学科・日本語学科
12 万円程度：建築工学研究科
13 万円程度：バイオサイエンス学科
14 万円程度：測量環境工学科・ものづくり工学科
15 万円程度：国際自動車工学科
19 万円程度：情報システム学科・映像音響学科・電気工学科・建築工学科
25 万円程度：一級自動車工学科・二級自動車工学科
26 万円程度：自動車カスタマイズ学科
※ノートパソコンを使用する下記（ ）内の学科で、学校を通じて購入する場合は、別途 20 万円程度が必要です。
（情報システム学科・映像音響学科・電気工学科・バイオサイエンス学科・建築工学科・建築工学研究科）
●2 年次
4 万円程度：日本語学科
18 万円程度：映像音響学科
14 万円程度：上記 2 学科以外
●3 年次
14 万円程度
●4 年次
14 万円程度

２　奨学金制度

(1) 特待生制度
〈特待生の特典〉
授業料全額～3 万円を給付します（初年度のみ）

〈応募資格：いずれかの項目を満たす者〉
① 一級自動車工学科特別推薦入学試験の合格者
② 特別推薦入学試験の合格者
※入学後、ホームルームなどで案内します。

(2) 奨学金
専願にて受験した合格者は専願奨学金として 2 万円を授業料より減額します。（初年度のみ）

(3) 家族割引
本校に合格し入学する者で、本人と 2 親等以内の間柄にある兄弟姉妹または親子等が本校に在学中もしくは卒業している場合、家族割引として授業料より 10 万円を減額します。(初年度のみ)

(4) 学費補助制度
本校に合格した方は、下記の奨学金や、国または商用銀行の教育ローンを利用できます。

独立行政法人 日本学生支援機構

募集期間	4 月中旬に希望者を対象とした説明会を行います。(高校在学時に予約可能。詳しくは高校の先生にご相談ください。)

貸付月額	第一種奨学金（無利子） 自宅通学者：3 万円、5 万 3 千円　自宅外通学者：3 万円、6 万円から希望月額を選択できます。 第二種奨学金（有利子） 3 万円、5 万円、8 万円、10 万円、12 万円から希望月額を選択できます。
利息	第二種奨学金（有利子） 在学中は無利子。卒業後は 3%を上限とする利子がつきます。
保証人	保証人・連帯保証人が必要。（機関保証制度あり。）
返還方法	卒業後、翌月から 6 か月経過後に本人指定の口座から自動引き落としにより返還が始まります。 月賦返還、月賦・半年賦併用返還のどちらかを選択できます。（経済状況により繰り上げ返還、減額返還、返還期限の猶予等もあります。）
返還回数 および金額	返還総額により決定します。
その他	申し込み者が多数の場合は、必ずしも採用されるとは限りません。貸与制度のため、返還義務があります。

Ⅷ 学校財務（ガイドラインの項目(8)）

平成２９年度資金収支計算書

（単位：円）

収入の部

科目	決算
学生生徒等納付金収入	485,209,081
手数料収入	8,834,700
寄付金収入	1,600,960
補助金収入	2,501,696
付随事業・収益事業収入	31,630,812
受取利息・配当金収入	16,689
雑収入	18,442,028
借入金等収入	185,000,200
前受金収入	325,262,362
その他の収入	3,696,845
資金収入調整勘定	△ 328,519,181
前年度繰越支払資金	143,212,166
収入合計	876,888,358

支出の部

科目	決算
人件費支出	334,951,402
教育研究経費支出	30,207,309
管理経費支出	107,523,920
借入金等利息支出	5,717,823
借入金等返済支出	205,388,000
施設関係支出	13,192,000
設備関係支出	15,615,699
その他の支出	51,777,606
資金支出調整勘定	△ 15,679,472
次年度繰越支払資金	128,194,071
支出合計	876,888,358

貸借対照表

（単位：円）

資産の部

科目	決算
固定資産	1,637,630,669
（有形固定資産）	1,590,912,989
（その他の固定資産）	46,717,680
流動資産	155,949,302
資産の部合計	1,793,579,971

負債の部

科目	決算
固定負債	201,406,427
流動負債	455,474,382
負債の部合計（Ａ）	656,880,809

純資産の部

科目	平成２９年度末
基本金（Ｂ）	1,806,526,329
翌年度繰越収支過額（Ｃ）	△ 669,827,167
純資産の部合計（Ｄ＝Ｂ＋Ｃ）	1,136,699,162

科目	平成２９年度末
負債および純資産の部合計（Ａ＋Ｄ）	1,793,579,971

Ⅸ 学校評価（ガイドラインの項目(9)）

(1) 自己点検・自己評価　（ホームページ上に掲載）
(2) 自己評価　（ホームページ上に掲載）
(3) 学校関係者評価　（ホームページ上に掲載）